



平成 29 年 11 月 28 日

各 位

会社名 株式会社ビーロット  
代表者名 代表取締役社長 宮内 誠  
(コード番号:3452 東証マザーズ)  
問合せ先 TEL. 03-6891-2525

平成29年12月期通期連結業績予想の修正及び固定資産の減損損失計上に関するお知らせ

当社は、本日開催致しました取締役会において、以下のとおり、平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正と固定資産の減損損失の計上について決議しましたので、お知らせいたします。

業績予想の修正について

1.通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,154	百万円 1,492	百万円 1,175	百万円 781	円 銭 203.36
今回修正予想(B)	13,000	2,264	1,896	1,172	306.94
増減額(B-A)	△3,154	772	721	390	
増減率(%)	△19.5	51.7	61.4	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	11,626	1,175	874	588	150.59

2.修正の理由

平成 29 年 11 月 17 日付のリリース「販売用不動産の売却に関するお知らせ」にて発表いたしました東京都新宿区のホテル(一部店舗)の売却を始めとして、第 4 四半期の販売用不動産の売却において、当初計画以上の(売上総)利益を確保できる見込みとなりました。これを受けて、当初今期中に売却を予定していた複数件の販売用不動産の売却については、来期に先送りし、来期の収益確保を優先することといたしました。この結果、今期の連結業績予想のうち利益面においては、当初計画を大幅に上回る見込みとなり、売上高につきましては、前回発表予想を下回ることとなりました。

また、当社が所有しております固定資産について減損の兆候が認められたことから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、新たに減損損失を特別損失に208百万円計上する見通しとなりました。

以上のことから、営業利益および経常利益につきましては50%超の増加の見込みであり、前述の減損損失を考慮した上でも、親会社株主に帰属する当期純利益は、50.0%増と前回発表予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上